

# 千葉県SVOB会ニュース

第1号 2004年11月19日発行

編集・発行：千葉県JICAシニアボランティアの会

会員の皆様

その後、会員の皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成16年度通常総会（平成16年5月29日）をもって、当会の今年度活動がスタート致しました。今般12月15日に第2回定例会を迎えるにあたり、この半年間の主な活動概要をお知らせし、ご理解とさらなるご協力を給りたいと存じます。なお総会で承認されました今年度の当会役員の名称と担務は次の通りです。よろしく願い申し上げます。

会長	品川 洋之助	(鎌ヶ谷市)	総括
副会長	梅谷 陽子	(大網白里町)	総務
副会長	及川 淳一	(船橋市)	※10月末SVとしてドミニカへ赴任
幹事	山本 修身	(千葉市)	会計、事務局
幹事	楠木 孝雄	(千葉市)	渉外、広報
幹事	上田 義晴	(千葉市)	渉外、広報
幹事	黒田 昭太郎	(柏市)	広報、渉外
会計監査	岡本 栄一郎	(柏市)	

なお、大山美砂子国際協力推進員には引き続き、連絡・調整などで随分協力頂いていることをご報告致します。

## [1] 品川会長挨拶

会員の皆様お元気で過ごしの事と存じます。

私は昨年の当会創立以来会長として活躍された及川淳一氏の後任として、スリランカから帰国してのち7月より及ばずながらその責を努めております。

当会も今年で2年目に入り、今までの経験を踏まえて、さらに活動の幅を広げて行きたいと思っております。その一つの例として、千葉県海外研修生受入事業への支援が挙げられます。楠木幹事がこの春からその企画段階より参加し、県担当者の方の信頼を得て、10月初め研修生来日以來、日本語教育・研修先訪問・初出勤同行など役員対応で協力しました。

研修のスタート段階での反省会では、我々の経験がお役に立った手ごたえを感じた次第です。今後、この実績を踏まえ、この方面の活動を発展させたいと思っています。そのためには当会の活動への会員の皆様の積極的な参加が今まで以上に必要となりますので宜しくお願い申し上げます。

## [II] JICA関係

### II-1 JICAへの新役員表敬訪問

平成16年度当会新役員は日頃お世話になっているJICA東京とJICA青年海外協力隊事務局へ下記表敬訪問を行い、今後のJICAから当会への支援・協力を依頼するとともに、独立行政法人として新発足したJICAの今後の方向についての情報入手に努めました。

1) JICA東京 7月21日(水) 16:00~16:40

面談者: 小樋山所長、寛次長、松本連携促進チーム長、湯本千葉県担当。

当会: 品川会長、及川副会長、楠木、上田、黒田幹事。

○ 小樋山所長からは、当会の「SV OB会の全国第1号」としての認知と、千葉県の国際協力とJICAの取り組む地域協力へ向けての出来る限りの協力・支援を行う旨のお話を頂きました。

2) JICA青年海外協力隊事務局 8月4日(水) 11:30~12:15

面談者: 大塚事務局長、谷川次長。

当会: 品川会長、及川、梅谷副会長、上田、黒田幹事。

- 大塚局長からは、かねてより懸案になっていたJOCV/SVの一元化が着々と進みつつあり、近い将来ボランティア事業として一本化されることになる旨の話があり、今後SVの待遇もこれまで以上に厳しくなること必至との感触を得ました。
- 当会からは、当会活動に対する引き続きの支援・協力要請と共に、千葉県出身SVに対する当会の紹介・入会勧誘のためのJICAとしての側面支援をお願いしました。

### II-2 ピース・トークマラソン 2003-2007 in 千葉への参加

JICA主催の「平和」や「国際協力」について考えるシンポジウムで、2003年8月から2007年まで3年半をかけて、47都道府県を1回ずつ巡回・実施していて、その8回目が千葉市で開催されました。

◎ 日時と場所: 6月26日(土) 13:00~16:30 千葉県教育会館。

◎ 当会から: 及川、梅谷副会長、山本、楠木、上田、黒田幹事。会員数人。

○ シンポジウムそのものはJICA企画でパネリストとして堂本知事はじめ千葉県ゆかりの出演者で構成され、「1人ひとりのできることに、1人のためにできること」をテーマに行われ盛況でした。またJOCVとの共用ブースで当会のPRに努めました。

### II-3 ちば出前講座への参加

- 1) 野田市老人クラブ連合会南部支部・野田市南部梅郷公民館長寿大学。
- ◎ 日時と場所：7月15日(木) 13:30～15:30 野田市南部梅郷公民館。
- ◎ 当会講師：黒田幹事。
- 受講者は老人クラブ南部支部の約60人で「青年の海外における活躍と外国の生活風習」という要請テーマにもとづいてJOCV OBの知分さん(千葉市)とともにそれぞれ任地のマレーシアとフィジーについて話をしました。聴衆は高齢にもかかわらず終始真面目に受講し適切な質問も出ました。また若い協力隊OGの知分さんが現地衣装を纏っての説明が大変興味を引いたようで、今後老人クラブのような高齢者対象の講座では青年協力隊OBの若い人との帯同が良いと感じました。
- 2) 花見川区民セミナー
- ◎ 日時と場所：9月10日(金) 10:00～12:00 千葉市幕張公民館。
- ◎ 当会講師：泉岡 輝元 会員(松戸市、インドネシア派遣)  
福島 章介 会員(松戸市、パラグアイ派遣)
- このセミナーは約20名を対象に「身近に感じる世界の国々(国際理解講座)」として3回に分けて行われました。第1日目は「地域住民への国際交流・協力について」と言うテーマで、JICAシニアボランティアの経験話を聴くという学習内容です。JICA国際協力推進員大山美砂子さんが司会し、パネルディスカッションの形でテーマごとに各講師の技術移転の様子、現地の生活の経験等の話が進められました。なおディスカッションのサポート役として品川会長があたりました。
- 受講者の質問で印象に残ったのはシニアボランティアの健康・医療に関するJICAのバックアップがどうかなど、シニアの生活環境に関して関心が高いことでした。なお本花見川区民セミナーの第2日目(11月19日)に「国際交流とは(国際交流概論)」のテーマでJICAより荒金恵一氏が講師として参加されています。

## II-4 ボランティア家族連絡会

従来、青年海外協力隊のOBが主催し、遠い海外に派遣されている隊員の留守家族が少しでも安心できるようにと派遣国を知る先輩を招いて1年に1度開かれている連絡会です。当会も隊員のご両親と同年輩で気安く相談に乗れる経験を有しているところから、JICA東京の要請に応じ、JOCV OB会との共催として参加しました。

- ◎ 日時と場所：10月30日(土) 13:00～16:30 ばるるプラザ千葉。
- ◎ 参加者：派遣隊員の家族と隊員OB、当会役員(品川、梅谷、山本、上田、黒田)  
出席家族の派遣地経験のある当会会員(久保田 謙氏、中川安隆氏)
- 当日は38名の留守家族にJOCV OB会会員、協力隊を育てる会、JICA東京、千葉県庁からの来賓と80人近い出席者で全員の愉快的な自己紹介の後、現地報告と活発な質疑応答が相次ぎ、盛会裏に終了を迎えました。なお当会梅谷副会長が任地での

活動状況を報告しました。

## II-5 平成16年度SV秋募集説明会へ当会員を講師として派遣

標記説明会が下記日程で開催され、主催のJOCA（青年海外協力協会）からの要請に応じて、当会からそれぞれ2名の講師を派遣しました。

1) 10月12日（金） 18:30～20:30 船橋会場（船橋市 フェイスビル）

◎ 参加者：JICA東京 荒金 恵一氏。

JOCA菅谷氏ほか計6名。

◎ 講師：寺戸 康隆 会員（松戸市、メキシコ派遣）

岩谷 宏司 会員（松戸市、タイ派遣）

◎ 参加者数：92名（男73名、女19名）

○ 雨天にもかかわらず92名の参加者を得ました。

2) 11月5日（金） 18:30～20:30 千葉会場（千葉市民会館）

◎ 参加者：JICA東京 松本 淳 連携促進チーム長

JOCA 菅谷氏他計6名

当会 山本、上田幹事

◎ 講師：久保田 譲 会員（八街市、シリア派遣）

後藤 優 会員（千葉市、ラオス派遣）

○ 広い会場の割には参加者が少なく、寂しい印象でした。

## 【III】千葉県関係

### III-1 千葉県招聘海外技術研修生受入事業にかかる協力

千葉県総合企画部企画調整課から当会への依頼を受けて、千葉県が招聘した南米（ブラジル、アルゼンチン各1名）、東南アジア（タイ3名、フィリピン、ベトナム各1名）計7名（うち女性3名）の海外技術研修生の日本語教育を当会が担当しました。10月5日の来日後、10月6日から14日までのオリエンテーションでは研修生全員を3クラスに分け、内山初枝さん、品川雅子さん（会長夫人）など日本語教育専門家の活躍で無事大任を果たすことが出来ました。若い研修生の旺盛な学習意欲もあって、県の担当者からも期待以上の成果との評価を得ています。現在研修生たちは大学、企業、病院、事業団などの受入機関に分かれて2ヶ月間の研修を受けています。「12月の帰国までの期間研修生の力になってほしい」という県の要望で、品川、梅谷正副会長と楠木、上田両幹事が県庁の担当者を補佐する形で、研修生と研修機関との連絡役をつとめて居ります。

### III-2 今秋派遣の千葉県出身 新SV の千葉県庁表敬に同行

平成 16 年度春募集で見事合格された千葉県出身SVが派遣前に千葉県庁へ表敬訪問するアレンジと同行を下記要領で行いました。

1) 9月24日(金) 10:00~11:00 千葉県庁5階大会議室。

訪問者：Aグループ 9名。(派遣国：モンゴル、ブータン、パキスタン、バヌアツ、ヨルダン、シリア、エジプト。)

千葉県総合企画部 石渡部長の挨拶に引き続き、9名のSVの自己紹介/挨拶と記念撮影で終了しました。

その後、当会よりの出席者(品川会長、上田、黒田両幹事)と大山千葉県国際協力推進員を交え、新SVとの懇談/激励会を行うとともに帰国後の当会への入会案内も行いました。

3) 10月19日(火) 10:00~11:00 千葉県庁3階第1会議室。

訪問者：Bグループ 8名。(派遣国：ドミニカ、アルゼンチン、ボリビア、パラグアイ、モロッコ、チュニジア。)

千葉県 総合企画部 石渡部長の挨拶に続き、8名のSVの自己紹介/挨拶と記念撮影で終了しました。当会の及川前会長もドミニカ共和国派遣の一員として参加しました。

その後、当会の出席者(品川会長、梅谷副会長、上田幹事)と大山千葉県国際協力推進員を交え、SV各位との懇談/激励会を行い、帰国後の当会への入会案内も行いました。

#### [IV] 今後の活動方針

今までの活動内容としまして、

① JICAシニアボランティア募集活動への支援

② 千葉県の海外研修生受入事業への協力

③ 自治体等の国際交流活動へ出前講座として各種セミナーへの講師派遣・国際交流フェスティバルへの参加・PR活動

④ JOCV OB会、千葉県JICA派遣OB会、SV経験を活かす会などとの連携などです。

今後は上記の活動を継続・発展させる事は当然ながら、特に努力したい点は、会員の皆様が進んで以上に来るだけ参加して頂きたい事です。全員参加型の活動を目指し、会員の皆様方の豊かな国際経験をより多く地域に還元していただきたいということです。今までも講師派遣の講師として参加して頂いたのが現状ですが、今後は各種国際交流会の準備段階からの参加、県等の海外研修生受入事業への得意分野での参加など「興味があるものに」「出来るときに」「楽しく」というボランティア精神・条件に従って、積極的な支援・参加をお願いします。

## [V] あとがき

本年5月以降の当会の主な活動概要について千葉県SV OB会ニュース第1号として皆様にお届けしました。新しい分野への進出もあり、当会の活動も徐々に充実しつつあると感じられます。今後はさらに皆様の参加をお願いしつつ役員一同頑張っておりますので、よろしくお願い致します。このメールニュースは情報の迅速な伝達、会と会員の皆様との意思疎通をよりはかるためにも、引き続き発信を続けて参りたいと考えて居ります。

なお、当会の会報につきましては近く第2号の準備にかかるところでありますが、皆様方の任地での活動経験・国内でのボランティア体験や随想など寄稿をお願いする予定であります。では全員参加の当会活動を目指しまして、皆様の一層のご協力をお願い致します。

以 上

(文責 黒田昭太郎)